

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	若年多発性骨髄腫の臨床的特徴、予後に関する検証
研究責任者	吉識 由実子、梨本 淳一郎
研究機関名	日本赤十字社医療センター 血液内科
研究目的と意義	<p>当院は多発性骨髄腫（以下、骨髄腫）の基幹病院であり、多くの患者さんを診療しています。骨髄腫の罹患率は、人口 10 万人あたり 5.4 人（2011 年データ）と推定されていますが、高齢の方に多い疾患です。しかしまれではありながら若年発症もみられ、実際に当院では 20～40 代で診断された患者さんも診療しています。近年、骨髄腫の診療は複数の新薬の登場、検査技術の向上により、大きく進歩しています。治療薬が増えたことは朗報ですが、どのような治療も個々の患者さんに合った適切な選択をしていくことが重要です。若年の患者さんにおいては、新薬だけでなく、造血幹細胞移植などの強力治療も含めて検討されますが、若年骨髄腫は世界的にも症例数が少なく、治療戦略上のリスク評価、治療選択をどのように行っていくのがよいか、データは不十分といえます。当院における若年の骨髄腫患者さんの診療データを検証することで、若年骨髄腫の特徴を抽出し、より適切な治療選択につなげたいと考えています。</p>
研究方法	<p>対象は 2011 年 1 月～2018 年 3 月の間に当院で診療した多発性骨髄腫、多発性形質細胞腫の患者さんで、診断時 45 歳以下の方です。</p> <p>診療上必要性をもって行われたこれまでの検査結果や診療録の内容を元に、患者さんの臨床所見、治療経過を後方視的に解析します。</p> <p>倫理的配慮：解析は、個人情報保護に十分配慮した上で行います。個人名が特定されないよう、患者さんの情報は匿名化されます。上記対象に該当する方で、本研究への登録を希望されない場合は、下記までご連絡ください。登録を希望されなくても不利益を被ることはありません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 血液内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22 担当者：吉識 由実子、梨本 淳一郎 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>